

平成 30 年 5 月 14 日

各 位

会 社 名 五洋インテックス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 大脇 功嗣
(JASDAQ・コード7519)
問 合 せ 先
役 職 ・ 氏 名 取締役管理部長 小林 光博
電 話 0568-76-1050

過年度の有価証券報告書、四半期報告書および決算短信等の

訂正に関するお知らせ

この度、過去に提出・公表いたしました有価証券報告書、四半期報告書、決算短信および四半期決算短信において訂正すべき事項がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 訂正の理由

当社は、平成30年3月27日付「第三者委員会設置に関するお知らせ」および同年5月7日付「第三者委員会の調査報告書受領に関するお知らせ」に記載のとおり、過去4期（平成27年3月期から平成30年3月期 第3四半期累計まで）に新規事業として行ったタブレット端末の販売、太陽光パネルなどの販売及びその他の新規事業に関する売上計上の妥当性に問題があり、社外の専門家によって構成される第三者委員会による調査を実施しました。

第三者委員会による調査報告書の結果により、一部の新規事業に関する取引（タブレット端末の販売、太陽光パネルなどの販売及びその他の新規事業）について、不適切な会計処理があったことが判明いたしました。

タブレット端末の販売にかかる取引に関しては、平成27年3月に会計処理として、収益を認識しておりましたが、回収予定の期日を過ぎても販売代金の回収がなされなかったことから、当社は取引の存在自体に疑義を抱き、弁護士を通じて調査を行ったところ、取引自体が架空のものであることが判明しました。そのため、当社は少なくとも会計上認識すべき取引ではなかったと判断いたしました。なお、当社は詐欺によるものとして刑事告訴を行っております。

また、太陽光パネルの販売を含む新規事業にかかる取引に関しては、平成26年12月から平成28年1月までの期間にて、会計処理として収益を認識しておりました。しかし、当社が主体的に販売及び仕入を行った取引ではなかったため、企業会計における認識としては、営業取引ではないと判断いたしました。

そのため、当社は、平成27年3月期第3四半期以降に提出・公表いたしました有価証券報告書、四半期報告書、決算短信および四半期決算短信において訂正を要する事項があると認め、当社の会計監査人である監査法人コスモスと協議した結果、過去における会計処理等を訂正すべきであると判断するに至りました。

2. 訂正の影響額（概算）

訂正の影響額（概算）は、添付のとおりであります。なお、訂正作業および会計監査は現時点では完了しておらず、影響額は現時点における概算であります。

なお、平成29年3月期において訂正の影響額がプラスに転じているのは、太陽光パネル販売取引において計上していました貸倒引当金21,600千円を訂正した要因と、同取引における営業外収益を計上した要因のものであります。

3. 今後の見通し

具体的な提出・公表時期につきましては、平成30年6月1日までに提出・公表する予定であります。

株主・投資家の皆様をはじめ、お取引先および関係者の皆様には、多大なご迷惑とご心配をお掛けいたしておりますことを、深くお詫び申し上げます。

以 上

訂正の影響額(概算)

【平成27年3月期】

(単位:百万円)

期間	項目	連結		
		訂正前(A)	訂正後(B)	影響額(B-A)
第3四半期	売上高	953	897	△ 55
	営業損失	△ 106	△ 116	△ 9
	経常損失	△ 119	△ 128	△ 9
	親会社株主に帰属する 四半期純損失	△ 126	△ 135	△ 9
	総資産	1,331	1,321	△ 10
	純資産	556	547	△ 9
	通期	売上高	1,597	1,323
営業損失		△ 70	△ 90	△ 20
経常損失		△ 85	△ 105	△ 20
親会社株主に帰属する 当期純損失		△ 90	△ 111	△ 20
総資産		1,474	1,443	△ 31
純資産		615	594	△ 20

【平成28年3月期】

(単位:百万円)

期間	項目	連結		
		訂正前(A)	訂正後(B)	影響額(B-A)
第1四半期	売上高	341	291	△ 50
	営業損失	△ 27	△ 30	△ 2
	経常損失	△ 30	△ 34	△ 3
	親会社株主に帰属する 四半期純損失	△ 32	△ 36	△ 3
	総資産	1,409	1,375	△ 34
	純資産	607	583	△ 24
	第2四半期	売上高	777	669
営業損失		△ 87	△ 92	△ 4
経常損失		△ 96	△ 102	△ 6
親会社株主に帰属する 四半期純損失		△ 101	△ 107	△ 6
総資産		1,341	1,313	△ 28
純資産		538	512	△ 26
第3四半期		売上高	1,175	1,031
	営業損失	△ 97	△ 104	△ 7
	経常損失	△ 116	△ 123	△ 6
	親会社株主に帰属する 四半期純損失	△ 124	△ 130	△ 6
	総資産	1,447	1,438	△ 8
	純資産	690	664	△ 26
	通期	売上高	1,648	1,496
営業利益又は営業損失 (△)		3	△ 5	△ 8
経常損失		△ 76	△ 81	△ 4
親会社株主に帰属する 当期純損失		△ 86	△ 90	△ 4
総資産		1,487	1,487	-
純資産		721	696	△ 24

【平成29年3月期】

(単位:百万円)

期間	項目	連結		
		訂正前(A)	訂正後(B)	影響額(B-A)
第1四半期	売上高	464	464	-
	営業損失	△ 67	△ 67	-
	経常損失	△ 64	△ 65	△ 0
	親会社株主に帰属する 四半期純損失	△ 54	△ 55	△ 0
	総資産	1,802	1,802	-
	純資産	793	768	△ 25
第2四半期	売上高	1,021	1,021	-
	営業損失	△ 73	△ 51	21
	経常損失	△ 71	△ 46	24
	親会社株主に帰属する 四半期純損失	△ 53	△ 28	24
	総資産	1,777	1,777	-
	純資産	797	797	0
第3四半期	売上高	1,520	1,520	-
	営業損失	△ 100	△ 78	21
	経常損失	△ 104	△ 79	24
	親会社株主に帰属する 四半期純損失	△ 93	△ 68	24
	総資産	1,744	1,744	-
	純資産	763	763	0
通期	売上高	2,164	2,164	-
	営業損失	△ 22	△ 0	21
	経常損失	△ 27	△ 2	24
	親会社株主に帰属する 当期純利益又は当期純 損失(△)	△ 24	0	24
	総資産	1,836	1,836	-
	純資産	828	828	0

【平成30年3月期】

(単位:百万円)

期間	項目	連結		
		訂正前(A)	訂正後(B)	影響額(B-A)
第1四半期	売上高	415	415	-
	営業損失	△ 112	△ 112	-
	経常損失	△ 139	△ 139	-
	親会社株主に帰属する 四半期純損失	△ 141	△ 141	-
	総資産	2,081	2,081	-
	純資産	1,140	1,140	0
第2四半期	売上高	900	900	-
	営業損失	△ 178	△ 178	-
	経常損失	△ 212	△ 212	-
	親会社株主に帰属する 四半期純損失	△ 222	△ 222	-
	総資産	2,040	2,040	-
	純資産	1,059	1,059	0
第3四半期	売上高	1,291	1,291	-
	営業損失	△ 183	△ 183	-
	経常損失	△ 218	△ 218	-
	親会社株主に帰属する 四半期純損失	△ 172	△ 172	-
	総資産	1,659	1,659	-
	純資産	1,110	1,110	0